

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	愛媛県下統一トレーシングレポート運用開始前後の状況調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長 田中守
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2030年12月31日
対象となる方	2023年6月から2024年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診され、抗がん剤治療を受けられた方のうち、保険薬局よりトレーシングレポートの返信があった患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、がん種、レジメン名、処方箋内容、副作用症状、トレーシングレポートの受領件数、副作用報告内容、処方提案内容
研究の概要 (目的・方法)	愛媛大学医学部附属病院(以下、当院)薬剤部では安全ながん薬物療法を患者さんに提供するために、2013年9月より病院薬剤師と薬局薬剤師が連携して患者さんの情報を共有する(薬薬連携)ための当院独自のトレーシングレポート(以下、TR)を運用しています。TRとは、保険薬局の薬剤師が患者さんから聞き取った副作用発現情報や服薬状況などを処方医に提供する文書のことを指します。しかしながら、各医療機関によってTRの形式が異なることから情報提供を行う保険薬局の負担が大きいことが考えられました。そこで、保険薬局の負担を軽減し、患者さんのよりよいがん薬物療法に貢献すべく、2024年4月より愛媛県下で統一したがん治療に特化した2種類のTR(がん全般・免疫チェックポイント阻害薬)が作成され運用を開始しました。今回、県下統一TR運用開始前後での保険薬局からの返信件数や返信内容を分析することで、更なる薬薬連携の推進お

	よび充実を図ることを目的として研究を行います。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院薬剤部 濟川聡美 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5746